

「健康」の歴史性 研究会

本プロジェクトは、従来は医療や疾病研究の視点でとらえられてきた「健康」を、暮らしや生態環境、生業、食生活等との関わりから探求するものである。本プロジェクト内において、私たち総合地球環境学研究所ユニット・歴史研究班はこれまで、「健康」観念や「健康」実践の歴史の変遷を追及することを目標に、各地域・時代の人びとをとりまく社会経済・生態環境、文化・思想・技術的状况を踏まえながら、「健康」問題を歴史的にとらえるための視角や方法について検討してきた。こうした経験を踏まえ、本研究会では、近世～現代のアジアにおける、「健康」観の特徴や歴史的变化、制度・政策と人びとの「健康」との関わり、人びとをとりまく「環境」と「健康」との関わり、の3つの視角から具体的な事例を検討しつつ、「健康」の歴史性、今、「健康」を考えることの意義などについて、議論を行いたい。

日時：2019年8月8日（木）～10日（土）

場所：総合地球環境学研究所 セミナー室3・4

プログラム

（報告＋質疑こみで1人30分程度、タイトルは全て（仮））

8月8日（木）

12:00 - 14:00

司会：市川智生（沖縄国際大学）

趣旨説明：福士由紀（首都大学東京）

戸部健（静岡大学）「近代中国の小学校教科書にみる健康観」

趙菁（金沢大学）「健康観念までの「養生」多様像：教養・階級・環境からとらえていく」

福士由紀（首都大学東京）「申報掲載の栄養補助食品広告からみる身体・家族・社会」

15:00 - 17:00頃

エクスカージョン（京都大学）

京都大学図書館本館・人文科学研究所書庫・京都大学医学部図書館等見学

武田時昌先生（京都大学人文科学研究所）「富士川游文庫整理事業について」

8月9日（金）

9:30 - 12:00 13:00 - 17:00

司会：キム・ヨンス（延世大学）

アレックス・ベイ（チャップマン大学）

市川智生（沖縄国際大学）「家畜の健康、ヒトの健康：近代日本の畜牛結核」

星野高德（琉球大学）「明治～戦後日本における下水処理化に対する意識の変化」
アレックス・ベイ（チャップマン大学）「Agency, Ecology and Japanese schistosomiasis :
日本住血吸虫病・生態・エージェンシー」
井上弘樹（日本学術振興会）「高度成長・鉤虫：重層的な「環境」と地域の「健康」」
飯島渉（青山学院大学）「日米医学協力計画（1965～現在）について」
門司和彦（長崎大学）「衛生学 eugenics と優境学 euthenics」
キム・ヨンス（延世大学）「韓国近代における健康観：宣教出版物と民間医療（民間療法）
を視野に入れて」
平体由美（東洋英和女学院大学）「GHQ 保健政策と子どもの健康への視座」
中澤港（神戸大学）「ラオス北部農村における健康意識と健康行動」
ハイン・マレー（総合地球環境学研究所）「planetary health」

8月10日（土）

9：30 - 12：00

司会：福士由紀（首都大学東京）

総合討論

お問い合わせ：

首都大学東京 人文社会学部 福士由紀

1224fuku@tmu.ac.jp

総合地球環境学研究所 蔣宏偉

jiang@chikyu.ac.jp